

## 第2章 愛知県におけるがんとかん医療の現状

### 1 がんの死亡状況について

#### (1) 全国の死因別死亡者数の推移

がんによる死亡者数は一貫して増加傾向にあり、近年は37万人以上に達しています。約3人に1人が、がんで亡くなっています。

単位：人

区分	がん	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	その他(自殺等)	死亡総数
平成12年	295,484	146,741	132,529	86,938	39,484	260,477	961,653
平成17年	325,941	173,125	132,847	107,241	39,863	304,779	1,083,796
平成22年	353,499	189,360	123,461	118,888	40,732	371,072	1,197,012
平成26年	368,103	196,925	114,207	119,650	39,029	435,090	1,273,004
平成27年	370,346	196,113	111,973	120,953	38,306	452,753	1,290,444
平成28年	372,986	198,006	109,320	119,300	38,306	469,830	1,307,748

データ元：厚生労働省「人口動態統計」

#### (2) 愛知県の死因別死亡者数の推移

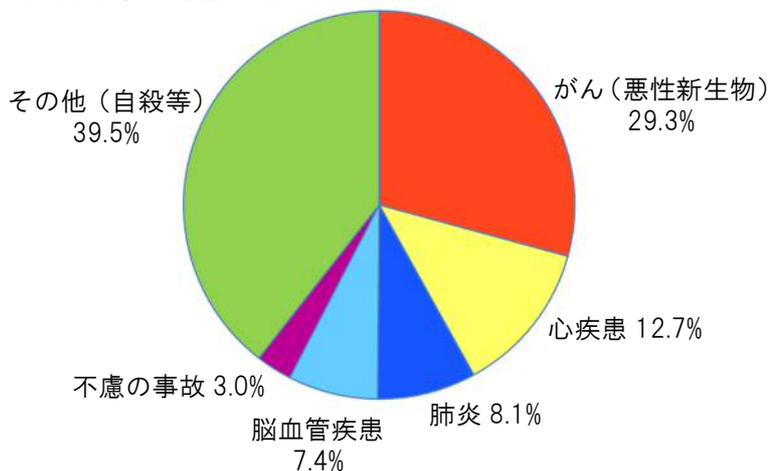
平成28(2016)年のがんによる死亡者数は、愛知県では19,087人でした。全国と同様に、約3人に1人が、がんで亡くなっています。

単位：人

区分	がん	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	その他(自殺等)	死亡総数
平成24年	18,102	8,651	5,585	5,515	2,019	21,482	61,354
平成25年	18,491	8,373	5,338	5,451	1,975	22,767	62,395
平成26年	18,527	8,483	5,282	5,236	1,902	22,996	62,426
平成27年	18,911	8,490	5,186	5,351	1,978	24,144	64,060
平成28年	19,087	8,288	4,853	5,321	1,936	25,742	65,227

データ元：厚生労働省「人口動態統計」

#### <平成28年 愛知県の死因別死亡割合>



**(3) 愛知県における3大疾患による死亡者数の推移**

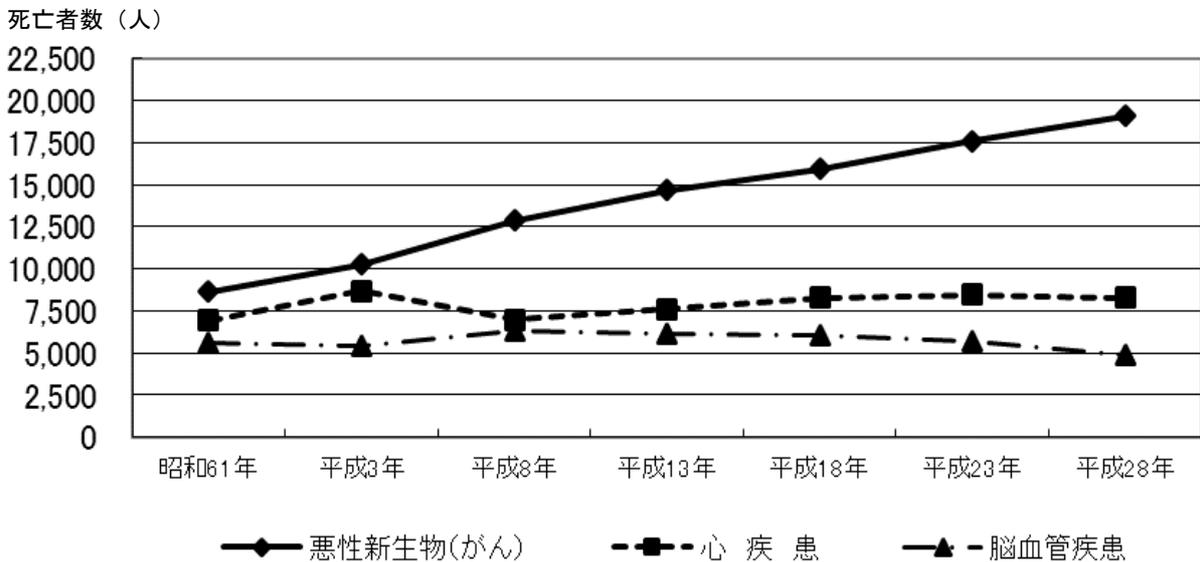
愛知県における3大疾患(がん、心疾患及び脳血管疾患)による死亡者数の推移を比較すると、がんによる死亡者数の増加が3大疾患の中で顕著になっており、平成28(2016)年の死亡者数を30年前と比較してみると、がんは2.2倍、心疾患は1.2倍、脳血管疾患は0.9倍となっています。

単位:人

区 分	昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
が ん	8,635	10,271	12,882	14,676	15,929	17,596	19,087
心 疾 患	6,942	8,671	6,968	7,586	8,294	8,454	8,288
脳血管疾患	5,586	5,403	6,349	6,149	6,097	5,723	4,853

データ元：厚生労働省「人口動態統計」

＜愛知県における3大疾患による死亡者数の推移＞



**(4) がんによる性別、部位別死亡者数の愛知県と全国の比較**

愛知県の男性の場合は、全国と同様に、肺がんの死亡者数が最も多く、がんによる死亡者数のうち約4分の1を占めています。以下、胃がん、大腸がん、肝がんによる死亡者数が多くなっています。

(男性)

単位:人

区 分		肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	その他	合 計
平成24年	愛知県	2,798 (25.4%)	1,711 (15.5%)	1,350 (12.2%)	989 (9.0%)	4,188 (37.9%)	11,036 (100.0%)
	全 国	51,372 (23.9%)	32,206 (15.0%)	25,529 (11.9%)	20,060 (9.3%)	85,943 (39.9%)	215,110 (100.0%)
平成25年	愛知県	2,860 (25.6%)	1,658 (14.8%)	1,395 (12.5%)	936 (8.4%)	4,327 (38.7%)	11,176 (100.0%)
	全 国	52,054 (24.0%)	31,978 (14.7%)	25,808 (11.9%)	19,816 (9.1%)	87,319 (40.3%)	216,975 (100.0%)

区 分		肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	その他	合 計
平成 26 年	愛知県	2,822 (25.1%)	1,782 (15.9%)	1,365 (12.2%)	870 ( 7.7%)	4,399 (39.1%)	11,238 (100.0%)
	全 国	52,505 (24.0%)	31,483 (14.4%)	26,177 (12.0%)	19,208 ( 8.8%)	89,024 (40.8%)	218,397 (100.0%)
平成 27 年	愛知県	2,871 (25.4%)	1,646 (14.5%)	1,396 (12.3%)	881 ( 7.8%)	4,534 (40.0%)	11,328 (100.0%)
	全 国	53,208 (24.2%)	30,809 (14.0%)	26,818 (12.2%)	19,008 ( 8.7%)	89,665 (40.9%)	219,508 (100.0%)
平成 28 年	愛知県	2,854 (25.0%)	1,636 (14.3%)	1,424 (12.5%)	885 ( 7.7%)	4,630 (40.5%)	11,429 (100.0%)
	全 国	52,430 (23.9%)	29,854 (13.6%)	27,026 (12.3%)	18,510 ( 8.4%)	91,965 (41.8%)	219,785 (100.0%)

データ元：厚生労働省「人口動態統計」

愛知県の女性の場合は、大腸がんによる死亡者が最も多く、肺がん、胃がんと続きます。

また、全国と比較すると、近年愛知県では胃がん及び大腸がんの死亡者の割合がやや大きい傾向となっています。

(女性)

単位：人

区 分		肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん	子宮がん	その他	合 計
平成 24 年	愛知県	972 (13.8%)	821 (11.6%)	1,118 (15.8%)	479 ( 6.8%)	634 ( 9.0%)	313 ( 4.4%)	2,729 (38.6%)	7,066 (100.0%)
	全 国	20,146 (13.8%)	16,923 (11.6%)	21,747 (14.9%)	10,630 ( 7.3%)	12,529 ( 8.6%)	6,113 ( 4.2%)	57,765 (39.6%)	145,853 (100.0%)
平成 25 年	愛知県	1,014 (13.9%)	891 (12.2%)	1,079 (14.7%)	462 ( 6.3%)	653 ( 8.9%)	334 ( 4.6%)	2,882 (39.4%)	7,315 (100.0%)
	全 国	20,680 (14.0%)	16,654 (11.2%)	21,846 (14.8%)	10,359 ( 7.0%)	13,148 ( 8.9%)	6,033 ( 4.1%)	59,177 (40.0%)	147,897 (100.0%)
平成 26 年	愛知県	1,077 (14.8%)	833 (11.4%)	1,155 (15.9%)	447 ( 6.1%)	688 ( 9.4%)	334 ( 4.6%)	2,755 (37.8%)	7,289 (100.0%)
	全 国	20,891 (14.0%)	16,420 (11.0%)	22,308 (14.9%)	10,335 ( 6.9%)	13,240 ( 8.8%)	6,429 ( 4.3%)	60,083 (40.1%)	149,706 (100.0%)
平成 27 年	愛知県	1,094 (14.4%)	841 (11.1%)	1,198 (15.8%)	440 ( 5.8%)	754 ( 9.9%)	369 ( 4.9%)	2,887 (38.1%)	7,583 (100.0%)
	全 国	21,170 (14.0%)	15,870 (10.5%)	22,881 (15.2%)	9,881 ( 6.5%)	13,584 ( 9.0%)	6,429 ( 4.3%)	61,023 (40.5%)	150,838 (100.0%)

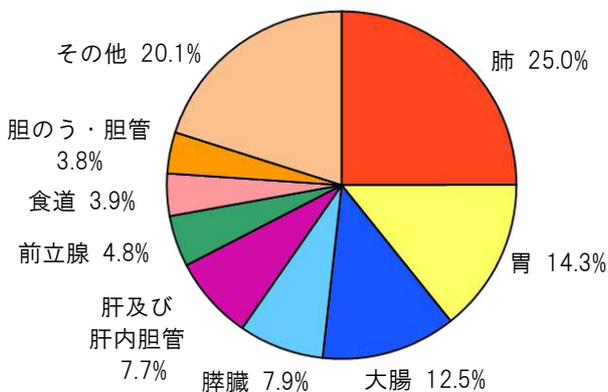
区 分		肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん	子宮がん	その他	合 計
平成 28 年	愛知県	1,063 (13.9%)	831 (10.9%)	1,202 (15.7%)	478 ( 6.2%)	720 ( 9.4%)	338 ( 4.4%)	3,026 (39.5%)	7,658 (100.0%)
	全 国	21,408 (14.0%)	15,677 (10.2%)	23,073 (15.1%)	10,018 ( 6.5%)	14,015 ( 9.2%)	6,345 ( 4.1%)	62,665 (40.9%)	153,201 (100.0%)

データ元：厚生労働省「人口動態統計」

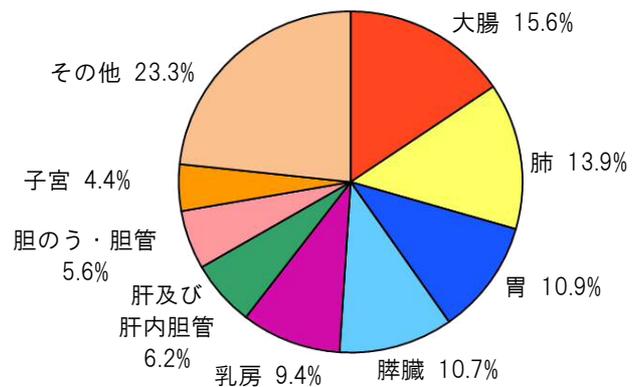
**(5) 愛知県における部位別がん死亡割合と年齢階級別死亡率**

男性で最も死亡数の多い部位は肺であり、胃、大腸、膵臓、肝及び肝内胆管と続き、女性で最も死亡数の多い部位は大腸であり、肺、胃、膵臓、乳房と続きます。

男性



女性



データ元：厚生労働省「人口動態統計」(平成28年)

平成27(2015)年の愛知県における、性・年齢階級別のがんの死亡率は、男性においては、全国と同様に30歳及び40歳代の年齢階級では胃や大腸等の消化管のがんによる死亡率が高く、50歳代以降の年齢階級では肺がんによる死亡率が急激に高くなっています。

女性においては、30歳から50歳代までの年齢階級では全国と同様に女性特有のがんによる死亡率が高く、60歳代以降の年齢階級では肺がん及び大腸がんによる死亡率が高くなっています。全国においては、60歳代以降の年齢階級では概ね肺がんによる死亡率が一番高くなっています。

**<年齢階級別死亡率(人口10万対)(平成27年)>**

(愛知県：男性)

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	2.8	7.6	20.6	40.5	89.6	160.7	256.6	353.4	528.9	695.4
胃	0.0	0.5	1.4	1.3	3.4	2.8	7.3	9.2	24.4	47.8	93.9	129.0	208.3	278.7	451.2
大腸	0.0	0.0	0.5	0.8	2.7	5.7	7.6	13.9	29.8	53.9	74.1	106.0	160.4	211.0	383.2

(全国：男性)

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.0	0.0	0.1	0.3	1.4	4.2	8.8	20.0	41.7	88.2	155.4	252.1	331.7	503.4	723.8
胃	0.0	0.3	0.6	0.8	1.6	2.9	5.9	13.2	26.5	52.6	87.4	136.9	196.1	284.1	428.5
大腸	0.0	0.4	0.5	1.2	2.3	4.8	7.7	16.3	30.7	56.0	80.1	116.2	157.1	219.4	349.9

(愛知県：女性)

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.0	0.0	0.0	0.5	2.5	1.4	4.0	5.4	12.2	26.8	50.7	66.9	99.8	126.0	213.7
胃	0.0	0.0	1.1	1.4	0.8	4.1	4.4	4.9	12.7	21.4	33.4	45.9	62.2	110.1	171.9
大腸	0.0	0.0	0.0	0.9	1.7	2.1	7.6	13.4	14.2	35.9	42.3	59.9	98.2	145.4	257.5
乳房	0.0	0.0	1.1	4.2	6.2	10.7	14.7	26.4	32.4	32.7	38.6	42.4	40.4	42.9	84.3
子宮	0.0	0.0	0.5	3.8	5.0	3.4	7.2	13.0	20.8	12.3	18.0	20.6	23.5	20.8	35.8

(全国：女性)

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.0	0.1	0.1	0.3	1.0	2.1	3.8	7.2	14.7	25.1	43.4	64.4	89.5	132.8	200.9
胃	0.1	0.2	0.4	1.5	1.9	3.0	5.0	7.1	11.6	18.6	27.0	39.0	56.5	91.2	177.9
大腸	0.1	0.1	0.6	0.6	1.9	3.9	6.5	11.6	19.2	30.2	39.3	56.7	82.3	126.7	254.4
乳房	0.0	0.2	0.7	2.4	4.3	9.6	16.6	26.7	32.8	38.9	37.3	37.7	37.6	40.7	63.3
子宮	0.0	0.1	0.6	2.1	3.4	4.8	8.4	12.1	14.3	14.6	15.4	17.5	18.5	23.6	32.1

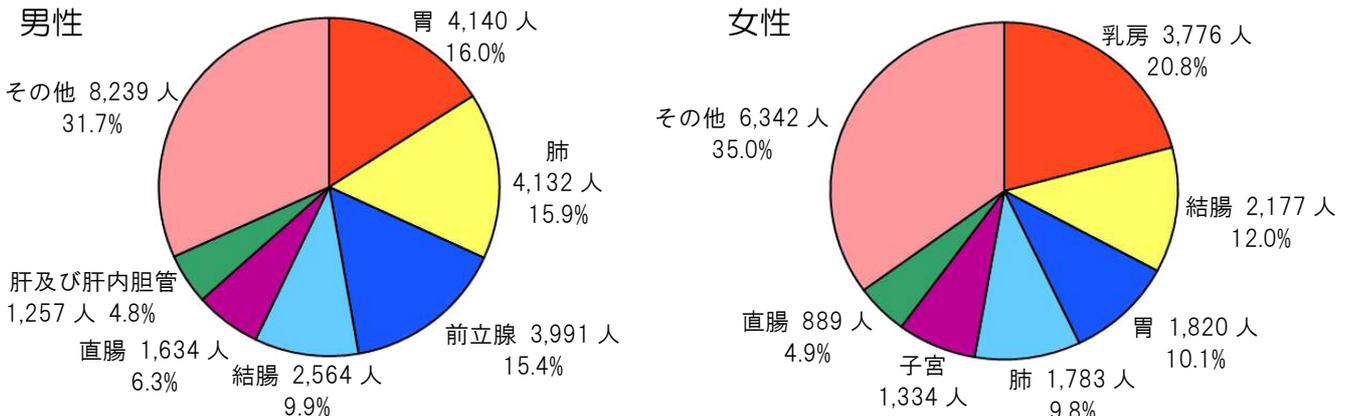
データ元：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

## 2 愛知県におけるがん罹患の状況

「愛知県のがん登録（平成26（2014）年がん罹患データ）」によると、愛知県在住で新たにがんと診断された人は平成26（2014）年1月から12月の1年間では44,078人（男性25,957人、女性18,121人）でした。

### (1) 部位別がん罹患割合

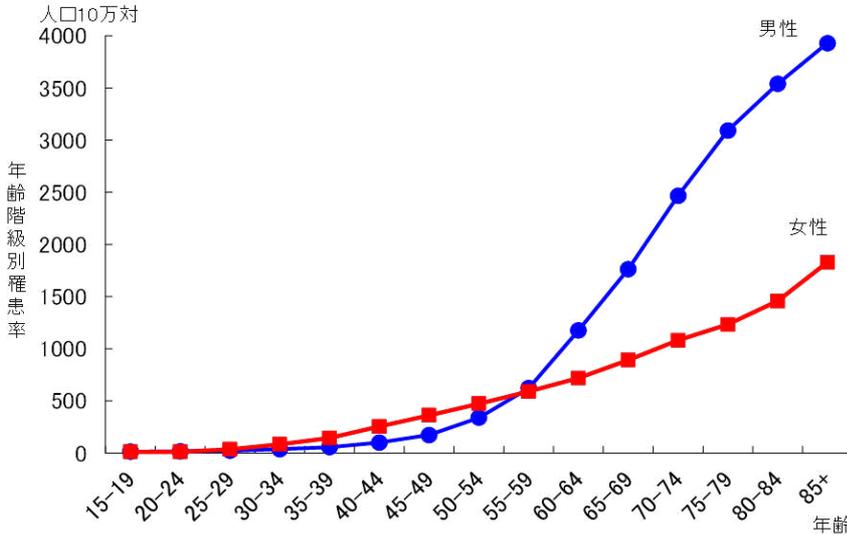
部位別にみると、男性で最も多いがんは胃がんであり、肺、前立腺、結腸、直腸、肝及び肝内胆管と続き、女性で最も多いがんは乳がんであり、結腸、胃、肺、子宮、直腸と続きます。



データ元：「愛知県のがん登録」

### (2)年齢階級別罹患率

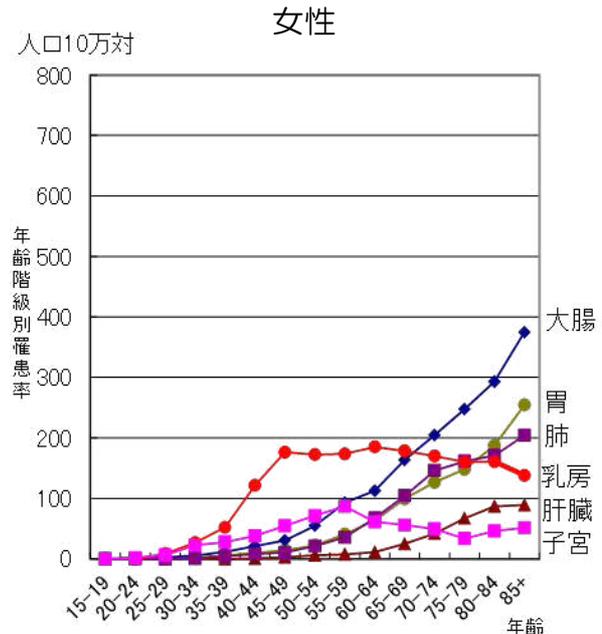
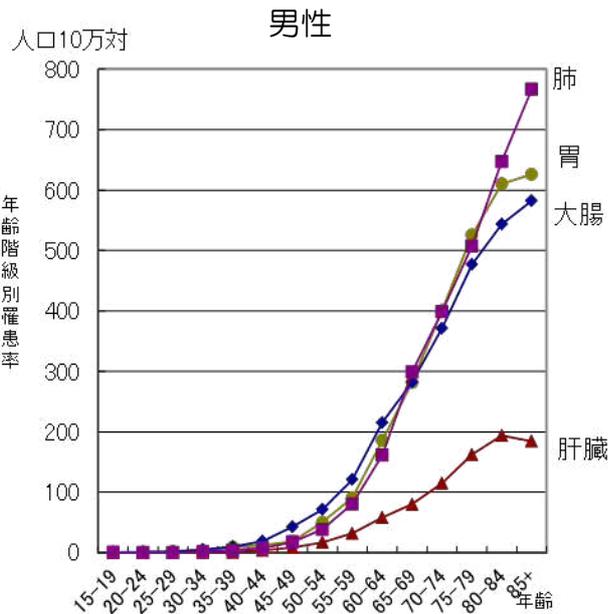
全部位における年齢階級別罹患率<sup>6</sup>(人口10万対)は、男性は50歳代から急激に増加していき、女性は40歳代から緩やかに増加していきます。30歳代から50歳代前半では女性が男性を上回っていますが、50歳代後半以降は男性が高くなり、その差は開いていきます。



データ元：「愛知県のがん登録」

### (3)年齢階級別・部位別罹患率

年齢階級別に各部位の罹患率(人口10万対)をみると、男性では大腸がんが40～64歳の年齢層で部位別罹患率の第1位となっており、80歳以上では肺がんが第1位となっています。女性では乳がんが25～69歳の年齢層で部位別罹患率の第1位となっており、70歳以上では大腸がんが第1位となっています。



データ元：「愛知県のがん登録」

<sup>6</sup> 年齢階級別に算出した罹患率です。通例、5歳階級ごとに算出され、例えば「40～44歳人口10万人のうち何人罹患したか」で表現されます。がんは年齢層によって罹患率が大きく異なり、多くの部位のがんは高齢ほど罹患率が高くなりますが、部位によっては若年層で罹患率が高くなるがんもあります。

## ＜年齢階級別・部位別罹患率（人口10万対、上皮内がんを除く）＞

(男性)

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.5	0.0	0.0	1.2	3.9	7.4	17.5	38.5	80.6	161.5	298.9	398.7	507.5	647.4	766.8
胃	0.0	0.5	1.3	2.7	8.8	12.1	18.3	50.2	90.7	185.8	281.5	400.6	525.8	610.3	626.1
大腸	0.5	1.0	1.7	5.1	9.5	18.9	42.8	71.4	121.1	215.3	282.3	371.3	477.1	543.5	582.4

(女性)

部位	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
肺	0.0	0.5	0.0	1.3	4.6	8.0	10.6	21.3	35.7	67.5	104.3	146.0	161.4	170.9	204.4
胃	0.0	0.0	2.4	1.7	5.7	9.7	14.1	22.2	40.7	63.7	99.4	126.7	148.0	187.4	254.5
大腸	0.0	0.5	2.8	5.7	11.8	21.3	30.6	54.8	92.7	112.6	163.7	204.6	247.4	293.0	374.8
乳房	0.0	0.0	8.5	26.7	52.1	121.6	176.4	172.4	173.5	185.2	178.6	170.0	160.3	160.9	138.4
子宮	0.0	1.6	6.6	22.7	27.8	38.0	54.6	71.5	86.8	61.2	56.0	49.7	33.5	46.0	51.5

データ元：「愛知県のがん登録」

## (4) 愛知県における小児がん、AYA世代のがんの発症状況

愛知県における小児がん<sup>7</sup>、AYA世代（Adolescent and Young Adult、思春期世代と若年成人世代）のがんの発症（0歳から39歳まで）について、地域がん登録<sup>8</sup>で把握している年間罹患数は、平成26（2014）年において1,208件となっています。

0歳から19歳までについては、白血病や脳・中枢神経系のがんの罹患が多く、20歳を過ぎると甲状腺、悪性リンパ腫が増え、その後、女性特有のがん（乳房、子宮）が多くなります。40歳以降のがんの発症状況とは特色が異なります。

<sup>7</sup> 一般にがんは、発病した部位によって例えば胃がん、肺がん等と呼ばれますが、小児期にがんを発症した場合には、総称して小児がんと呼ばれています。大人のがんの場合は、上皮から発生する場合がありますが、小児がんは白血病、脳腫瘍、悪性リンパ腫等の上皮でない部位から発生する（非上皮性）腫瘍が多いといった違いがあります。

<sup>8</sup> 都道府県において、がんの罹患状況やがんと生活習慣との関連を把握するために行う登録で、医療機関からの届出により行われています。平成28年1月より国で1つにまとめて集計する全国がん登録がスタートしました。

＜小児がん、AYA世代のがん患者の把握数（地域がん登録により把握された罹患数）＞

罹患数	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
全体数	1,137 件	1,204 件	1,227 件	1,244 件	1,208 件
0～4 歳	45 件	39 件	56 件	53 件	79 件
5～9 歳	26 件	29 件	25 件	36 件	33 件
10～14 歳	23 件	30 件	23 件	32 件	29 件
15～19 歳	33 件	30 件	45 件	49 件	49 件
20～24 歳	55 件	71 件	59 件	77 件	56 件
25～29 歳	33 件	140 件	122 件	130 件	132 件
30～34 歳	274 件	262 件	276 件	299 件	288 件
35～39 歳	548 件	603 件	621 件	568 件	542 件

データ元：「愛知県のがん登録」

＜平成 26 年の小児がん、AYA 世代のがん患者の部位別罹患状況＞

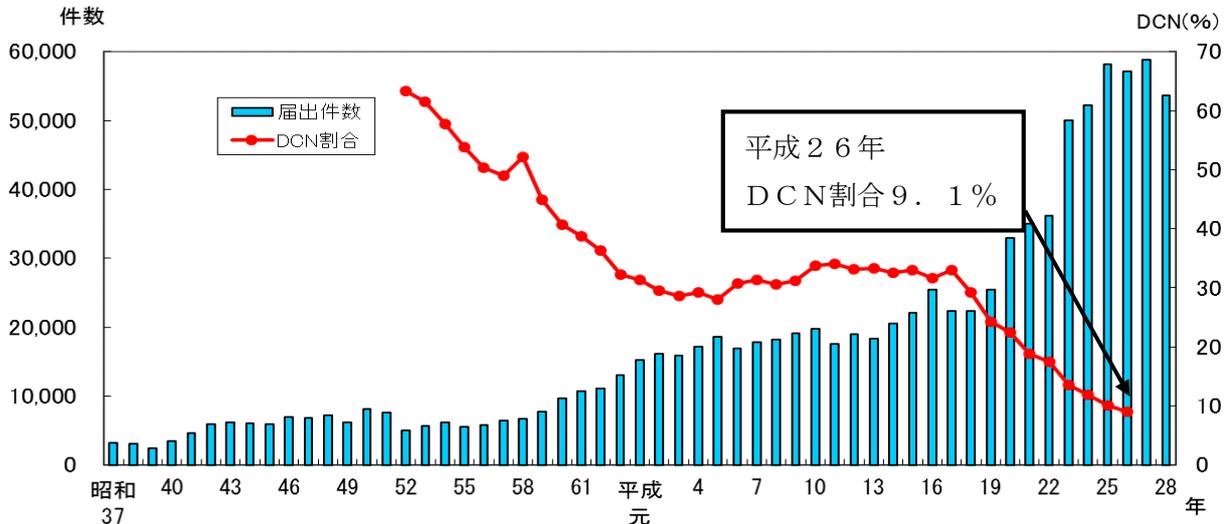
	部位名	罹患数	割合		部位名	罹患数	割合
0～4 歳	全体	79 件	—	5～9 歳	全体	33 件	—
	①白血病	33 件	41.8%		①白血病	15 件	45.5%
	②脳・中枢神経系	12 件	15.2%		②脳・中枢神経系	9 件	27.3%
	③腎・尿路（膀胱除く）	5 件	6.3%		③悪性リンパ腫	6 件	18.2%
10～14 歳	全体	29 件	—	15～19 歳	全体	49 件	—
	①白血病	9 件	31.0%		①白血病	11 件	22.4%
	②脳・中枢神経系	5 件	17.2%		②悪性リンパ腫	7 件	14.3%
	③卵巣 ③悪性リンパ腫	2 件	6.9%		③甲状腺	4 件	8.2%
20～24 歳	全体	56 件	—	25～29 歳	全体	132 件	—
	①白血病	13 件	23.2%		①乳房	18 件	13.6%
	②甲状腺	8 件	14.3%		②悪性リンパ腫	16 件	12.1%
	③悪性リンパ腫	6 件	10.7%		③子宮	14 件	10.6%
30～34 歳	全体	288 件	—	35～39 歳	全体	542 件	—
	①乳房	61 件	21.2%		①乳房	137 件	25.3%
	②子宮	52 件	18.1%		②子宮	73 件	13.5%
	③甲状腺	29 件	10.1%		③大腸	58 件	10.7%

データ元：「愛知県のがん登録」

### 3 地域がん登録の届出件数等の推移

本県においては、昭和37（1962）年から地域がん登録を実施しており、登録事務実施体制の強化や医療機関における院内がん登録<sup>9</sup>の充実により、届出数は増加傾向にあるとともに、がん登録の精度指標であるDCN割合<sup>10</sup>は改善傾向にあります。なお、平成28（2016）年1月より全国がん登録<sup>11</sup>が始まっています。

#### <届出件数とDCN割合の推移>



データ元：「愛知県のがん登録」

(注) 地域がん登録の精度指標であるDCN割合は、医療機関からの悪性新生物（がん）患者届出票と人口動態調査との照合作業を行い、届出票の重複等を除いた後に値を算出しているため、平成26（2014）年が最新のデータとなります。

### 4 愛知県におけるがんの推計患者数の推移

本県の地域がん登録で把握する推計患者数を部位ごとにみると、男女とも肝臓がんを除き、概ね増加傾向にあります。また、全部位で見ると、男女とも平成22（2010）年以降は増加傾向が緩やかとなり、ほぼ横ばいで推移しています。

(男性)

部位	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
胃	3,832	3,782	4,205	3,900	4,111	4,079	4,140
肺	3,514	3,716	3,945	3,999	4,000	4,230	4,132
大腸	3,248	3,324	3,777	3,882	3,837	4,089	4,231
前立腺	2,517	3,134	3,497	3,907	3,992	4,102	3,991
肝臓	1,534	1,395	1,429	1,359	1,378	1,289	1,257
全部位計	21,351	22,180	24,181	24,729	25,080	25,827	25,957

<sup>9</sup> 医療機関において、がんの診断、治療、予後等の情報を集積し、院内におけるがん診療の向上と患者への支援を目指して行われる登録事業のことです。

<sup>10</sup> 地域がん登録の届出票の提出がされていなくて、人口動態調査（死亡小票）のみによって把握した患者の割合を示すもので、数値が小さい方が登録の精度が高いことになります。「Death Certificate Notification」の頭文字です。

<sup>11</sup> 平成28年1月より、「がん登録等の推進に関する法律」に基づき、全国の病院等がんと診断された人のデータを都道府県知事に届け出ることが義務化され、国で1つにまとめて集計・分析・管理することになりました。

(女性)

部位	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
乳房	2,969	3,005	3,383	3,500	3,582	3,693	3,776
大腸	2,324	2,488	2,783	2,848	2,987	3,096	3,093
胃	1,615	1,668	1,749	1,761	1,736	1,810	1,820
肺	1,342	1,428	1,646	1,665	1,678	1,723	1,783
子宮	1,028	1,141	1,176	1,216	1,291	1,304	1,334
肝臓	691	671	727	740	628	637	600
全部位計	14,623	15,127	16,601	17,060	17,424	18,095	18,121

データ元：「愛知県のがん登録」（平成29年9月）

(注) 推計患者数は、上皮内がんを除いた数です。

全部位計は表に記載した主要部位と、それ以外の全ての部位を含むがんの推計患者数です。

「大腸」は、結腸、直腸S状結腸移行部、直腸、肛門部及び肛門管を合計した数です。

## 5 愛知県における喫煙率の状況

現在、習慣的に喫煙している人の割合を示す喫煙率を経年的に比較すると、男性は40歳代と50歳代、女性は40歳代で喫煙率が低下しています。

また、直近のデータでみると、男女とも若年者においては、その他の年代と比較して喫煙率が高い傾向があります。

(男性)

区分	全体	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
平成21年	29.7%	27.1%	36.7%	39.1%	38.5%	29.3%	15.0%
平成24年	28.4%	34.5%	36.9%	32.0%	33.6%	29.6%	15.7%
平成28年	26.1%	35.4%	30.1%	29.7%	28.3%	26.9%	17.0%

(女性)

区分	全体	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
平成21年	10.3%	17.5%	12.3%	16.1%	9.1%	6.2%	3.8%
平成24年	6.5%	6.7%	12.9%	7.8%	7.8%	4.8%	2.2%
平成28年	6.4%	7.7%	8.2%	4.3%	10.8%	5.7%	4.3%

データ元：愛知県「生活習慣関連調査」

## 6 がん検診の受診率の状況

がん検診の受診率については、平成26（2014）年度から平成27（2015）年度にかけて大きく低下していますが、データ元となる「地域保健・健康増進事業報告」のがん検診対象者数の計上方法が「職域<sup>12</sup>等で受診機会のある人を除き、がん検診台帳等から正確な対象者数」から「職域等で受診機会のある人も含め、各がん検診の対象年齢の全住民」に変更されたことによるものです。

本県の平成26（2014）年度までの受診率を経年的に比較すると、全国と同様に各部位とも横ばいの状況となっています。また、全国平均との比較では、各部位とも本県の受診率が上回っています。

### ア 胃がん

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
愛 知 県	14.1%	14.6%	14.5%	14.6%	9.1%
全 国	9.8%	10.0%	9.6%	9.3%	6.3%

### イ 肺がん

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
愛 知 県	22.9%	23.4%	23.8%	24.3%	14.9%
全 国	15.6%	16.3%	16.0%	16.1%	11.2%

### ウ 大腸がん

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
愛 知 県	23.2%	23.8%	24.2%	24.5%	15.7%
全 国	17.8%	18.9%	19.0%	19.2%	13.8%

### エ 乳がん

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
愛 知 県	31.1%	30.6%	31.6%	30.6%	26.5%
全 国	26.7%	26.3%	25.3%	26.1%	20.0%

### オ 子宮頸がん

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
愛 知 県	40.2%	39.3%	39.0%	40.3%	29.2%
全 国	31.4%	31.8%	31.1%	32.0%	23.3%

データ元：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

（40歳から69歳を対象として算定、ただし、子宮頸がんのみ20歳から69歳を対象）

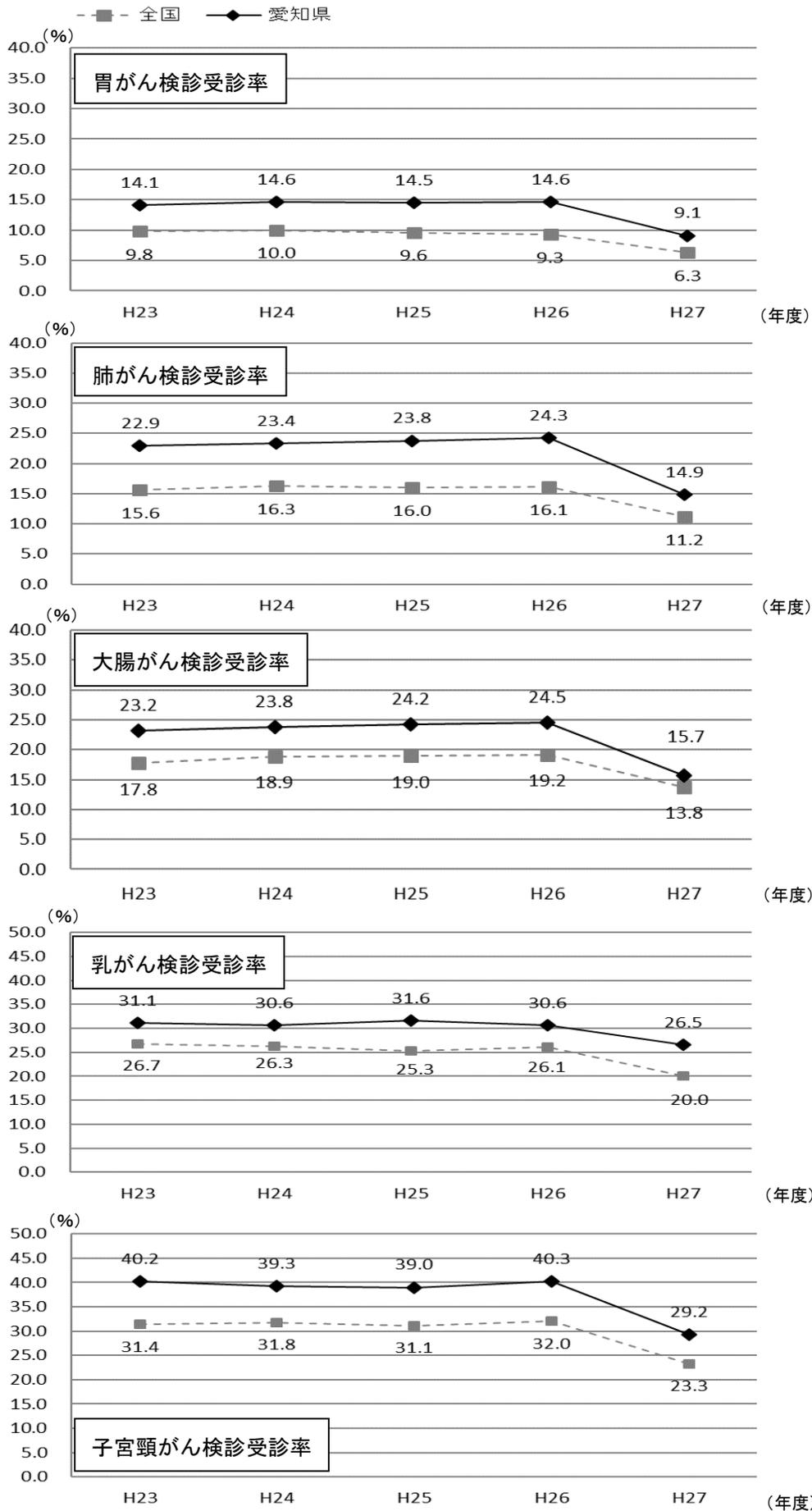
※ 「地域保健・健康増進事業報告」のがん検診受診率の対象者については、平成27年度から以下のとおり変更となったため、受診率が低下しました。

（変更前）職域等で受診機会のある人を除き、がん検診受診者台帳等から正確な対象者数を計上する。

（変更後）職域等で受診機会のある人も含め、各がん検診の対象年齢の全住民を計上する。

なお、国の「第3期がん対策推進基本計画」では、職域におけるがん検診については、対象者数、受診者数等を定期的に把握する仕組みがないため、将来的に把握できる仕組みを検討するとしています。

<sup>12</sup> 会社員・公務員・船員とその扶養家族を対象とする健康保険（組合健保・協会けんぽ）・厚生年金・労災保険・雇用保険・共済組合・船員保険等の社会保険が受け持つ領域を示します。



## 7 がん診療連携拠点病院及びがん診療拠点病院の指定状況

(1) 国指定のがん診療連携拠点病院<sup>13</sup>（平成29（2017）年4月1日現在）

本県におけるがん診療の中核を担う「都道府県がん診療連携拠点病院」が1病院、地域のがん診療の中心的役割を果たす「地域がん診療連携拠点病院」が16病院の計17病院が指定を受けています。

医療圏	医療機関名	所在地
名古屋	愛知県がんセンター中央病院 ※1	名古屋市千種区
	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	名古屋市中区
	名古屋大学医学部附属病院	名古屋市昭和区
	独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	名古屋市南区
	名古屋市立大学病院	名古屋市瑞穂区
	名古屋第一赤十字病院	名古屋市中村区
	名古屋第二赤十字病院	名古屋市昭和区
海部	愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院	弥富市
尾張東部	公立陶生病院	瀬戸市
	藤田保健衛生大学病院	豊明市
尾張西部	一宮市立市民病院	一宮市
尾張北部	小牧市民病院	小牧市
知多半島	半田市立半田病院	半田市
西三河北部	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	豊田市
西三河南部東	愛知県がんセンター愛知病院	岡崎市
西三河南部西	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	安城市
東三河南部	豊橋市民病院	豊橋市

(注) 指定期間は、平成27年4月1日から平成31年3月31日まで

※1については「都道府県がん診療連携拠点病院」

## (2) 県指定のがん診療拠点病院（平成29（2017）年4月1日現在）

「がん診療連携拠点病院」と同等の機能を有すると考えられる医療機関を、「がん診療拠点病院」として指定しています。

医療圏	医療機関名	所在地
名古屋	名古屋掖済会病院 ※2	名古屋市中川区
	名古屋記念病院	名古屋市天白区
	独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災病院 ※2	名古屋市港区
	名古屋市立西部医療センター	名古屋市北区
尾張東部	愛知医科大学病院	長久手市
尾張北部	春日井市民病院	春日井市
西三河北部	トヨタ記念病院	豊田市
西三河南部東	岡崎市民病院 ※2	岡崎市
西三河南部西	刈谷豊田総合病院	刈谷市

(注) 指定期間は平成27年4月1日から平成31年3月31日まで

※2については、平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

<sup>13</sup> 全国どこに住んでいても等しく高度ながん医療を受けることができるよう、県が推薦し国が指定する医療機関であり、緩和ケアチーム、相談支援センター等の設置等が義務付けられています。がん診療連携拠点病院には、都道府県に概ね1か所指定される都道府県がん診療連携拠点病院と、2次医療圏に1か所程度指定される地域がん診療連携拠点病院があります。